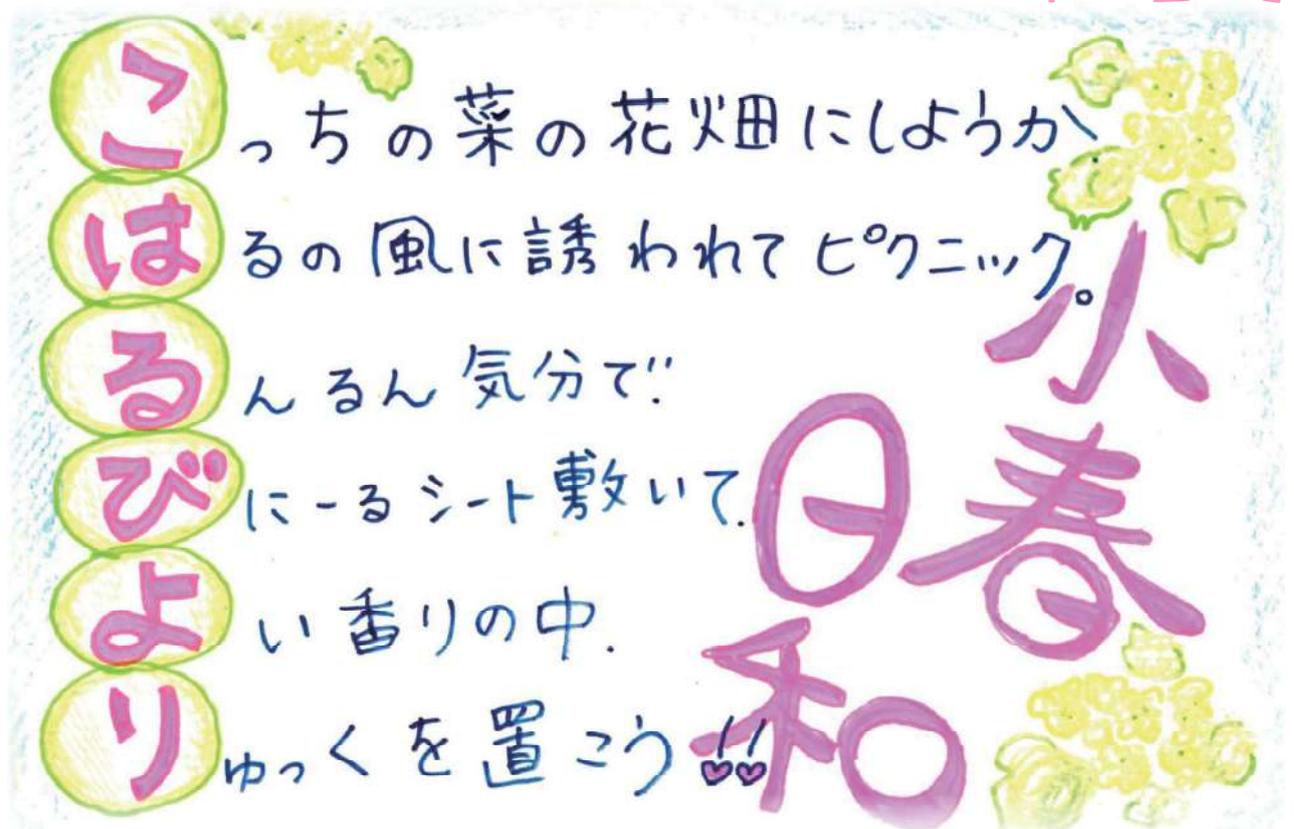


ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『いこう』

# いこう IKOU!

2026年 春号



第6回折り句コンテスト 折り句作家MIKAKO賞 受賞作品 (作: Happyさん <パスセンター上大岡プラザ / 神奈川県>)

## 【巻頭特集】障がい者雇用推進カンパニー訪問インタビュー

障がいはプラス! オンリーワンの能力を開花させてワクワクする社会をつくる

東京都チャレンジドプラスTOPPAN株式会社 (TOPPANホールディングス(株) 特例子会社)

## 就労支援の「人」

秋田大学 大学院教育学研究科 教職実践専攻 教授

前原和明先生

いこう! 就労移行支援事業所へ!

地域と繋がり、自分を見つける事業所—LIIMO調布・国分寺(東京都)

第6回折り句コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

障がい者雇用推進カンパニー訪問インタビュー

# 障がいはプラス！ オンリーワンの能力を開花させて ワクワクする社会をつくる

—社会のニーズに障がい者雇用をマッチング—

TOPPAN ホールディングス株式会社 特例子会社

東京都チャレンジドプラス TOPPAN 株式会社

東京都チャレンジドプラスTOPPAN株式会社は、日本を代表する印刷会社である凸版印刷株式会社（現：TOPPANホールディングス株式会社）の障がい者の雇用促進を目的とした第三セクター方式の特例子会社として、1993年に東京都板橋区で設立されました。東京都と板橋区の参画を得て、行政と企業が連携しながら、障がいのある方が安心して働き続けられる受け皿を整備したので

す。印刷の前工程である製版業務から始まった同社の事業は、時代のニーズに併せてIT開発、書類の電子化、紙すき、オフィス事務などに広がり、現在では障がい者向け情報サイトの運営まで実施しています。同社は常に新しい業務を模索しながら障がい者雇用を拡大し続けているのです。

❖社名の「プラス」に込められた想いを教えてください。

社名に込められているのは障がいを制約ではなく、本人の強みや可能性と結びつけながら価値へ転換し、課題に対して前向きに挑戦し続ける姿勢です。それ以外にも「プラス」には、雇用を継続するだけでなく、事業の幅を広げ、活躍の場を増やし、健康を土台に一步步成長する

という考え方が重ねられています。当社は雇用の場にとどまらず、社員一人ひとりができることを増やし、仕事の質を高めながら挑戦できる組織づくりを進めてきました。さらに、挑戦を個人の努力だけに委ねず、職場の仕組みとして支え、成功体験を積み上げることで次の成長へつなげる文化を育てています。

❖貴社の障がい者雇用の特徴を教えてください。

当社の特徴としては、身体・精神・知的の3つの障がい区分を、ほぼ均等に採用しているということです。受け入れ体制や職域設計を工夫し、多様性を前提に組織を運営しています。従業員約200名のうち、本社（板橋区）に約100名が勤務し、残りの約100名はTOPPAN各拠点に常駐して、事務補助や清掃などのサポート業務を担っています。

グループ内の現場を支える形で仕事が成立しているため、雇用の拡大がグループ全体の生産性や職場改善にもつながる構造になっています。加えて、拠点常駐によって各職場の実態を把握しやすく、業務量や適性に応じた調整、働きやすさの改善提案が行いやすい点も強みです。

## TOPPAN ホールディングス株式会社について

- ❖ 所在地：東京都文京区水道 1-3-3
- ❖ 設立：1900年（明治33年）
- ❖ 資本金：104,986（百万円）（2025年3月末時点）
- ❖ 従業員：連結 51,988名（2025年3月末時点）
- ❖ 売上高（連結）：1,717,960（百万円）（2025年3月末時点）



<https://www.holdings.toppan.com/ja/>



＜東京都チャレンジプラスTOPPAN(株)の皆さま（正面左から）＞

- ▶ 常務取締役 経営管理部長 兼 ユニバーサル研究所長 棟方輝彦氏
- ▶ クリエーション推進部 部長 宮永裕志氏
- ▶ ユニバーサル研究所 ユニバーサル研究チーム チームリーダー 八尋洋光氏
- ▶ 販売推進チーム 兼 経営管理部 広報チームリーダー 齊藤浩次氏
- ▶ 常務顧問 紙すき工房・農業事業担当 米原泰彦氏

◆ 障がいのあるメンバーの活躍の場について教えてください。

▼プリントオンデマンド

TOPPANグループ各社からの依頼に加え、外部からの印刷依頼に対応します。印刷後の発送までをワンストップで行います。「必要な時に、必要な数だけ」の依頼に対応するので無駄が発生せず、環境問題解決にもつながります。

▼システム開発

ITを活用して多岐にわたって業務展開しています。RPA(定型業務の自動化システム)の開発運用から、自動組版システムの設計・開発など、ITで障がいの新たな活躍の場を創出しています。

▼資料のデジタル化

保管文書・写真のデジタル化(アーカイブ業務)を行って

ます。セキュリティ対策のしつかりとした環境で作業を行うので、貴重な資料の機密性が守られます。クライアントの「省スペース」「BCP対策」「検索性の向上」などに寄与しています。

▼オフィスサポート

TOPPANグループ各社のオフィスにて、発送・仕分けや、清掃などのバックヤード業務など、グループの業務遂行を支援しています。

▼紙すき

TOPPANの紙器工場で印刷時に発生する紙パックの損紙を回収し、良質なバルブ繊維だけを原料として再生手すき用紙をつくっています。資源リサイクルにつながるこの事業は、TOPPANグループのSDGsの取り組みの一環です。「紙すき工房」では、さまざまな障がいを持ったメンバーが協力し、手すきの風合いがある紙と、その紙を使用したレターセットなどの製品をつくっています。

▼BPO

BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)では、クライアントの業務プロセスの一部を受託しています。一例を挙げれば、リサイクルスマートフォンの箱組み立て業務などがあります。

▼菜園事業(有機的農法)

当社ビルの屋上にプランターを設置して作物を栽培しています。作物の生産は「安心・安全」を掲げ、化学肥料や農薬を使用しない有機的農法を行っています。なお、作物は各種イベントやさまざまな販売スポットにおいて多くの方々の手に取られています。

▼ユニバーサル研究所

30年間におよび障がいのある当事者との仕事をしてきた知見を集約したユニバーサル研究所では、「コンサル事業」と「情報発信事業」を行っています。前者では障がい当事者の視点をいれることで、誰もが使いやすい商品サービスや施設を提案しています。後者では、例えばバリアフリー情報サイト「らへゆへ」を運営しています。

▽ 障がいは制約ではなく本人の強みや可能性

チャレンジプラスTOPPANの業務風景①

■ プリントオンデマンド



■ システム開発



■ 資料のデジタル化



■ オフィスサポート



## 障がい者雇用の状況

※2025年6月1日時点・全従業員の約74%が障がいのある社員

< 勤続年数 >



< 障がいの内訳 >



※肢体不自由：37名 / 聴覚：7名 / その他：4名

## 健康経営の取り組み



< 健康経営優良法人 2025 ネクストプライト 1000 に認定 >



— 健康経営優良法人認定制度とは —  
地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。「大規模法人部門」と「中小規模法人部門」の2つの部門がある。

# 努力と成長をしっかりと処遇に反映

◆ 人材育成の取り組みについて  
教えてください。

◆ 長期就労のための施策について  
教えてください。

人材育成で最優先されるのは、社会人としての基礎力の形成です。日々の業務を通じて「集中力」「丁寧な作業」「手順遵守」を繰り返し伝達し、当該業務の土台ができてから新しい仕事に挑戦する、という段階的なステップを踏みます。毎週の振り返りでは、本人が自己評価を行い、指導員がコメントを添えてフィードバックします。この評価項目は昇給や賞与などの人事考課と連動しており、日々の努力と成長が処遇に反映される仕組みとなっています。

面談では、本人・指導員・専門スタッフ（社会福祉士等）に加え、就労支援機関の担当者を変えた4者面談を定期的に実施しています。家庭面は支援機関、会社は就労面に集中するという役割分担を明確にしています。課題が見えた際は「何が難しいか」を分解し、手順の再設計や支援方法の見直しにつなげることで、無理なく改善できる道筋を示しています。

長く安定して働けるよう、労働条件と福利厚生も整備しています。入社時から月給制を採用し、原則として3年目からの無期雇用（特別本雇）については退職慰労金制度を適用。勤務時間は本人の健康状態に合わせて6時間勤務と8時間勤務を選べる仕組みがあり、無理のない就労を可能にしています。さらに通院による有給休暇の枯渇を防ぐため、通院専用のサポート有給休暇を年12日付与し、本来の有給休暇をリフレッシュに充てられるよう配慮しています。TOPPANグループの福利厚生制度が適用される点も、安心して働き続ける土台となっています。

◆ 職場の合理的配慮の工夫について教えてください。

本社のオフィスは設計段階からバリアフリーの概念が取り入れられ、当事者目線の工夫が随所に見られます。車椅子がターンしやすい床材、落ち着ける空間デザイン、

## チャレンジドプラスTOPPANの業務風景②

■ユニバーサル研究所



■菜園事業



■BPO



■紙すき



蓄積した雇用ノウハウを社会へと還元

バリアフリー情報サイト「らくゆく」

ユニバーサル研究所が運営している「らくゆく」には障がい者が日々をイキイキ過ごすための情報が満載。



▲サイトではバリアフリートイレマップが閲覧できる。

▼障がいのある方や周りの方にとって役立つ、そしてワクワクするような動画コンテンツも盛りだくさん。



バリアフリー情報サイト  
らくゆく  
ACCESSIBILITY INFORMATION SITE

<https://rakuyuku.com/>



近年、特に力を入れているのが「健康経営」です。健康経営優良法人（プライト500）を取得し、健康を個人任せにしない運営を進めています。例えば朝はラジオ体操第1、昼は第2、15時にもストレッチ体操を実施し、部署リーダーが交代で指揮を執ります。年1回の「健康宣言」で自分の健康目標を立て、定期健康診断に加えて体力測定や栄養バランス（水分・脂質等）の測定を行い、経年変化

◆従業員の健康に対する取り組みについて教えてください。

車椅子でも使いやすいテーブル、火傷防止のレバー式電子レンジ、角度調整できる鏡など、ユニバーサルデザインの仕器を整備。休憩面でも、70分に一度の休憩を推奨し、横になって休めるベッドやマットを備えることで、体調管理と集中力維持を支えています。加えて、設備の工夫が「特別扱い」ではなく、誰にとっても使いやすい環境として機能している点が、安心感と働きやすさを支える重要な要素になっています。

加えて、現場で培った「育成」「人員配置」「合理的配慮」「健康経営」などの知見を体系化し、他社や地域にも展開できるモデルへ磨き上げていきたいと考えています。

◆貴社のこれからの展望について教えてください。

自社の障がい者雇用率達成にとどまらず、社会全体の障がい者雇用に貢献することを目指しています。現在はハローワークと連携し、3ヶ月間の訓練で事務作業や清掃業務を習得できる「委託訓練事業」の開始準備を進めています。就労移行支援事業所などとも連携し、広く門戸を開きながら、雇用の入口を増やしていく計画です。将来的にはTOPPANグループ全体に障がい者雇用のノウハウを共有し、インクルーシブな職場環境を広げていくことが大きなミッションとなっています。

東京都チャレンジプラス TOPPAN 株式会社について

- ❖ 所在地：(本社) 東京都板橋区小豆沢 1-16-2
- ❖ 設立：1993年6月
- ❖ 資本金：1億円
- ❖ 従業員：196名 (2025年6月時点)
- ❖ 拠点のある都道府県：北海道 / 宮城県 / 埼玉県 / 東京都 / 愛知県 / 大阪府 / 広島県 / 福岡県



▲本社の入口に飾られている東京都チャレンジプラスTOPPANの各事業部の業務を表したジオラマ。



▲本社の入口に掲げられている従業員のアビリンピック優勝をたたえるポスター



## いこう! 就労移行支援事業所へ!



開放感のある空間のリーモ国分寺。この日は利用者さんたちがヨガ教室でリラックスしていた。

リーモ調布では手話を学ぶプログラムも開催されている。



リーモ国分寺で行っている地域クリーンアップ活動のボランティア。



取材に対応してくれた鈴木美恵施設長(リーモ調布・国分寺)・中央と井上勝紀支援員(リーモ調布)・全森岡教子支援員(リーモ国分寺)(右)

<今回お伺いした事業所>



## 地域と繋がり、自分を見つける事業所

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこにはやはり事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは、実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

### 色彩豊かな支援員

LIIMO(リーモ)は、東京都と大阪府に5拠点を構える就労移行支援事業所。今回お伺いした国分寺事業所は設立から3年を迎え、地域によって異なる行政の特性や地域のカラーを理解しながら、利用者お一人おひとりに寄り添った支援を展開している。

「私たちが最も大切にしているのは相談者様の抱かれているお気持ちや聴くことです。見学に来られる方々は、大きな不安と勇気を持って一歩を踏み出しています。だからこそ、まずはご本人がどのような希望を持ち、どのような想いで足を運ばれたのかを丁寧に受け止めることが大切だと思います」(鈴木施設長)

一人ひとりを尊重するスタイルは個性が高く、その人の人生の背景や現在の状態に合わせて柔軟に対応していく。そして、それを担うのが多様なキャリアを持つ支援員だ。

「長年、児童発達支援に関わってきました。未来を創ろうという子ども達の希望に触れるうち、全ての人の未来を切り拓く支援をしたいと考えたのです」(鈴木施設長)

「以前は『ライター(オンライン配信者)』として活動していました。配信を通じて多くの視聴者の悩みを聞いて寄り添ってきた経験が、現在の「聴く支援」につながって

いると思います。話しやすい雰囲気を作り、言葉にならない思いを汲み取ることが、安心感につながるのではないのでしょうか」(井上支援員)

「30年以上にわたり大学職員として勤務してきました。キャリアセンターで学生の進路相談や障がいのある学生の支援を担当してきた知見は、利用者さんの自己分析や就労先とのマッチングにおいて役立つと思います」(森岡支援員)

### 「自己分析」と「言語化」を大切に

就労訓練において、リーモが最も重要視しているのは自己分析だ。「自分が何を得意とし、何が苦手か。どんな時にストレスを感じるのか」を正しく理解することが、面接を突破し、就職後に長く働き続けるための鍵だという。

スタッフとの面談を通じ、過去の経験を振り返りながら自分の特性を「言語化」する。自分のトリセツ(取扱説明書)を作るようなこのプロセスは、自己理解を助けるだけでなく、「相手に自分のことを伝える力」を養う。プログラムには遊び心も取り入れられており自分の好きな歌を紹介する「自分を励ます歌紹介」など、楽しみながら自分と向き合える工夫がなされている。

### 地域社会と共に

また、力を入れているのが地域社会とのSDGsを軸とした外部連携だ。例えば公園の清掃活動、エコキャップの回収、老人ホームでのボランティア活動など、積極的に事業所の外へ飛び出す。これらの活動は社会貢献のみならず、地域の中で知り合いを増やす。道端で「こんにちは」と挨拶を交わす関係を構築するのだ。例えば地域のパン屋で会った時には好きなパンの話に花が咲く。そのような、人とのつながりが人生を楽しく彩る。

リーモは就労だけでなく、地域というコミュニティの中に自分の拠点や繋がりを持つるようにサポートすることで、その先の長い人生を見据えた支援を行っているのだ。

「リーモの利用者さん」という「馴染み」地域のための活動は、地域における味方(協力者)をつくる。リーモでは地域企業の就職説明会や見学会なども開催されている。「ああ、リーモの利用者さんね」という企業の「馴染み」からの好印象もあるだろう。もちろん、地域企業への就職も少なくない。住み慣れた地域での就職は、利用者さんにとっても安心してできるものだろう。

### 不安こそ大切な出発点

「『自分でできるだろうか』『通い続けられるだろうか』という不安を抱えている方は少なくありません。私たちはその不安や迷いさえも大切な出発点として捉えています。まずは扉を開き、あなたの想いを聞かせてください。そこから、地域と繋がり、自分自身を再発見する新しい一歩が始まります」(鈴木施設長)

人生を豊かにする地域社会とのつながりの窓口としても機能するリーモ。ぜひ一度訪れてみては。

### 事業所お問合せ先情報

●LIIMO 調布  
東京都調布市布田 1-40-3-2F  
TEL : 042-426-8988

●LIIMO 国分寺  
東京都国分寺市南町 3-22-2-2F  
TEL : 042-313-9677

●南森町 ●阿波座 ●大正

<https://liimo.lemonkai.social/>



# わたしたち！ 就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

あなたの『働きたい』をカタチに

## テイクハート土浦（茨城県）



茨城県土浦市有明町 2-31  
関鉄土浦ビル16F

◆TEL 029-875-6027

◆E-MAIL Info\_tsuchiura@takeheart.or.jp

<http://takeheart.or.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

### 人気のロングウォーキング 外出イベント♪

霞ヶ浦の風と季節を感じながらリフレッシュ  
出来ると利用者さんからも好評です。



障がいのある方へのメッセージ

「利用者さんファースト」をモットーに、おひとり一人の気持ちに寄り添った支援を行っています。人気のウォーキングイベントや外食会をはじめ、工作イベントやふれあいサロンなど多彩なイベントを実施。日曜開所も行い、利用者さんが安心して集える居場所づくりに努めています。

「自分らしく働く」を全力でサポート

## シャローム所沢（埼玉県）



埼玉県所沢市くすのき台  
3-18-4 所沢K・Sビル 4F

◆TEL 050-6865-3031

◆E-MAIL tokorozawa@shalom-jp.org

<https://www.shalom-jp.org>

これが事業所の名物ワーク！

### シャロームカフェ

利用者さんと卒業生が共に参加できる楽しい  
コミュニケーションプログラムです。パリス  
タウエーターを担当する方は職業体験の場  
にもなる多様なプログラムになっています。



障がいのある方へのメッセージ

シャロームは、就職の準備をしながら「心と体の元気」を丁寧に  
取り戻していく場所です。同じ空気を分かち合う仲間と過ごす  
うちに、きっと「人と関わることが好きになる」そんな温かい  
時間がここには流れています。一人で困難な道を歩まず、ま  
ずは私たちのところへ来てみませんか？あなたの笑顔を願うス  
タッフが、新しい一歩を全力でお手伝いをさせていただきます。

「あなたの居場所がある」「あなたの役割がある」をサポートします

## コリード韮崎（山梨県）



山梨県韮崎市若宮 1-2-50  
韮崎市民交流センターニコリ 3F

◆TEL 0551-30-9466

◆E-MAIL nirasaki@colead-co.jp

<https://colead-co.jp/nirasaki>

これが事業所の名物ワーク！

### 施設長による筋トレ プログラム！



障がいのある方へのメッセージ

コリード韮崎では画一的なプログラムではなくお一人おひとりの  
プログラムにこだわります。小さな目標を一步步つ乗り  
越えながら、一つずつ達成していくことで「不安」を「自信」  
に変えてほしいと思います。今よりも「もっとできる」を感じ  
てほしい。これがコリード韮崎の支援です。

その人のスタートから、その人のゴールまで

## ぷらす横堤（大阪府）



大阪府大阪市鶴見区諸口  
3-1-28 鶴見中里ビル 5F

◆TEL 06-6780-9790

◆E-MAIL yokodutsumi@plus2corp.co.jp

<https://www.plus2.co.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

### 推しを語らせろ！

対象を問わず、自分の好きなもの  
を皆に伝えよう！というもの。利  
用者さんごとの様々な知識・スキ  
ルが垣間見えるイベントです。



障がいのある方へのメッセージ

100 人いっしょにすれば 100 通りの来し方、ニーズ、  
目標があります。ご一緒する中でできる限りそれらを  
汲み取れるよう、これからのより良い人生に資するよ  
うな支援をできるよう努めております。

# 第6回折り句コンテスト結果発表



前号で募集をしました第6回折り句コンテストへのご応募、誠に有難うございました。  
ここでは、皆さまの素晴らしい作品の中から、優秀作品5作品を表彰いたします。



折り句コンテスト開催団体



一般社団法人社会福祉支援研究機構

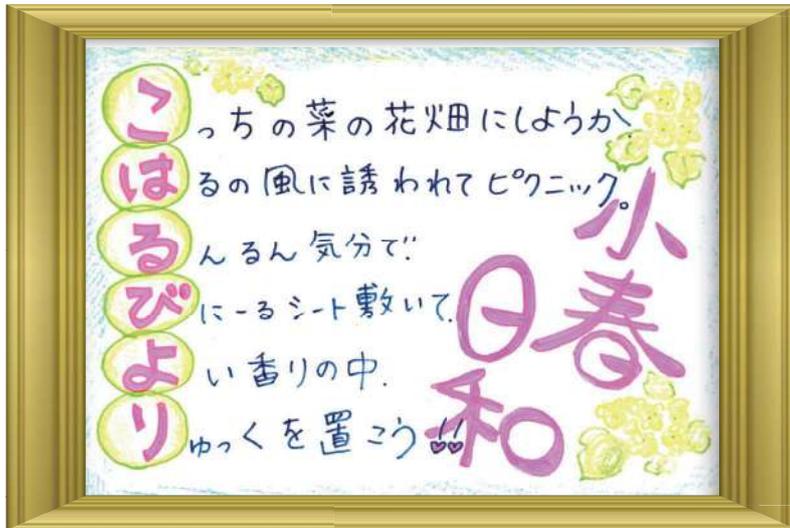
協賛



日本折り句協会

<http://www.oriku.or.jp/>

## 折り句作家 MIKAKO 賞



### 『こはるびより』

Happy さん

(パスセンター上大岡プラザ / 神奈川県)

#### 〈表彰の言葉〉

春へのワクワクを感じさせる可愛らしいピンク色と黄色が優しい文字で表現されているのが印象的な作品。菜の花に誘われてどこでピクニックしようかと春を楽しんでいる様子は、誰しも経験したことがあるような懐かしい感じが共感できる折り句でした。

## 社会福祉支援研究機構 理事長賞

### 『じてんしゃ』

自転車のことを描いている折り句ですが、失敗して乗れるようになるから大丈夫！と言っフレーズから人生を表現しているように感じ、とても勇気をもらいました。

#### 〈表彰の言葉〉



いさん (エール近鉄八尾 / 大阪府)

### 『せいちょう』

せめの姿勢で！と勢いよく始まる折り句の中に強さと弱さを持ち合わせている人間らしさを感じます。背景や色遣いの中に強弱があり、力強さと繊細さが表現されていて前向きかつ自分を鼓舞しながら温かさが伝わってくる作品だと感じました。

#### 〈表彰の言葉〉



S・Fさん (ティオ森下 / 東京都)

## 優秀作品賞

### 『塞翁が馬』

Y.Oさん (チャオ上尾/埼玉県)

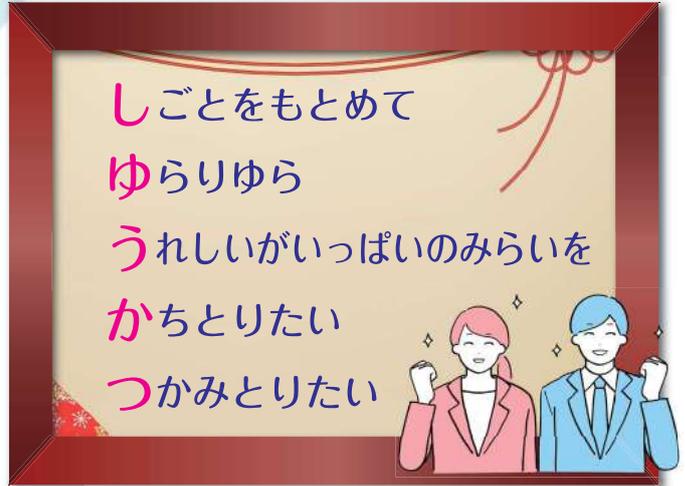


#### 〈表彰の言葉〉

「人生の幸・不幸は予測できない、何が良いことか悪いことか分からない」という意味のことわざ、「塞翁が馬」。この作品には、人生の希望を感じることができました。

### 『しゅうかつ (就職活動)』

Cさん (アフレッシュいわき/福島県)



#### 〈表彰の言葉〉

あせらず、自分のペースで、イキイキと。そんな就職活動の風景が浮かんできます。そして就職後にはたっくさんやりたいことをやってみて、充実した人生を！

## 第6回『イコウ！春の写真コンテスト』のご案内

日頃通っている事業所やあなたのお住いの街の一コマを全国の方々に写真で紹介してみませんか？

#### ❖テーマ

主催：SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構



あなたの通う事業所のある街の一コマ～ココロがときめいた身の回り被写体を切り取ってみてください～

#### ❖募集部門

- ①スマートフォン (スマートフォン、タブレット) 部門
- ②デジタルカメラ (一眼レフカメラ、コンパクトカメラ等) 部門

#### ❖賞および賞品

- 審査委員長賞 (各部門1名)
  - 社会福祉支援研究機構 理事長賞 (各部門1名)
- ※受賞作品に審査委員長からのコメントを添えて、額に入れて進呈いたします。



#### ❖募集期間

2026年3月2日(月)～2026年5月9日(土)

#### ❖応募方法

作品に作品名と氏名(ペンネーム可)を添えて、ご契約の就労移行支援事業所(社会福祉支援研究機構加盟)にご提出ください。  
※本誌に掲載させていただく場合は、事前にご連絡いたします。

#### ❖結果発表

イコウ次号<2026年夏号>の誌面にて受賞者を発表いたします。

#### ＜イベントのご案内＞

※スマホでも一眼レフカメラでも参加可

審査委員長・熊切大輔先生による  
「スマホやカメラで楽しむ！写真ポイント講座」

↓過去の開催風景↓



2026年3月21日(土)13:00～13:50

実施方法：ZOOM (ウェビナー使用)

講師：熊切大輔先生

(公益社団法人日本写真家協会 (JPS) 会長)

※詳細は事業所内掲示のご案内等でご確認ください。

# 就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

秋田大学 大学院教育学研究科 教職実践専攻 教授

## 前原和明先生 Kazuaki Maebara

論文一例

就労選択支援サービスの発展に向けた期待と課題／就労選択支援で活用される就労アセスメントの手法／就労選択支援員養成研修の内容と視点／特別支援学校高等部在籍する生徒の自己決定力に対する生徒の自己評価と教員評価の相違に関する研究／一般就労中における就労系障害福祉サービスの一時利用と就労アセスメント／就労選択支援従業者の養成のための研修における標準プログラムの開発についての研究



## Profile

島根大学 教育学部 学校教育教員養成課程 心理学専修卒業。医療福祉専門学校、松江市教育委員会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構勤務を経て2019年より秋田大学 教育文化学部 准教授、2023年に教授就任。現在は同大学大学院教育学研究科教授。

私は岩国市の北部にある小さな地域で育ちました。いわゆる「昔ながら」の空気が濃くて、周りに合わせることに当たり前、という雰囲気の中にいた感覚があります。中学の頃は、全員がバスケットボール部に入るのが当然で、選択肢は実質ないような状況でした。運動が得意でなくても、運動をするしかありません。今振り返ると、その時に感じた違和感が、いま私が大事にしている「個人の尊重」や「選択の自由」の根っこにあるかもしれません。

### 教育心理学から障がい者支援へ

大学に進むときは、心理学を学びたいと思いました。自分自身のことをもっと知りたかったのです。教育心理学を学び始めて、そこで出会ったゼミの先生が障がい者支援に関わっていた。しゃべった。これが大きな転機でした。大学時代は、夏休みに特別支援学校のサマースクールでボランティアをしたり、山間部の福祉施設のイベントに参加したり、たくさん子どもたちや障がいのある方と関わりました。

卒業論文の制作では週に4～5日程幼稚園に通いました。その中で私の見方を変えたのが「障がいはその人の中にあるというより、人と人とのコミュニケーションのズレによって発現することがある」という視点です。周りがどう支えるか、周りの見方が変わることで本人も変わっていきます。私はそこで「関係性の支援」の重要性を感じました。

### 就労アセスメントの重要性

現在、私の主なテーマとなっているのが制度として新設された「就労選択支援」です。ここで本当に大事なものは、手続きとして回すことではなく、利用者の方がフラットな状態で「自分の未来を自己決定できるように支える」という理念をしっかりと理解して実践することだと思っています。これまでは、周囲の人が用意した選択肢に、障がい者本人が合わせる」といった形が多かったかもしれません。

### <最新著書紹介>



『就業選択支援ガイドブック』  
編集：前原和明／中央法規出版  
定価：本体 2,400円（税別）

しかし、これからは違います。将来の選択肢をたくさん並べて、本人が納得して選ぶ。そのプロセス自体を支える必要があります。そのために欠かせないのが「就労アセスメント」です。一人の支援者だけで理解したつもりになるのではなく、地域の複数機関が連携して、多角的に本人を理解していく。強みや可能性を、共に発見していく。私は地域全体で学び合い支援していくことに希望の未来を感じています。

就労はゴールではありません。働いたその先の人生をどう豊かにするかが大事です。恩師が言っていた言葉で、私が大切にしているものがあります。「発達には無駄・遊び・暇が重要だ」というものです。真面目すぎて、自分を追い詰めてしまう方は少なくありません。仕事以外の趣味や、リラックスできる術を持つことは、長く働き続けるために本当に大切だと思います。

### 人生に無限の可能性を求めて

※『就業選択支援ガイドブック』は就労支援に関わる方必携の一冊です。ぜひ活用ください。発売日：2026年4月3日／現在、amazonにて予約受付中です。予約QRコードはこちら→



「自由」への想い

就労移行支援事業所は「自分の可能性」を発見する場所  
「無駄・遊び・暇」こそ大切



## 最新の取組みのご報告

### 1. 第11期「一般社団法人社会福祉支援研究機構 総会」開催

会場+オンラインで加盟事業所の皆さまにご参加いただきました。会の終了後は懇親会もありました。

#### ■ 第一部：総会



1月22日、当機構の勉強会を衆議院憲政記念館にて開催いたしました（11期総会も同時開催）。当日はオンラインでも同時開催しており、こちらにも多くの方々にご参加いただきました。例年通り第11期の事業報告並びに収支決算、第12期の事業計画並びに収支予算などを審議可決いただき無事に総会を終えました。最後には会場出席者全員で記念撮影を行いました。

#### ■ 第二部：基調講演



総会に引き続き、法政大学現代福祉学部教授、日本職業リハビリテーション学会会長の眞保智子先生より基調講演を行っていただきました。眞保先生には「障がい者就労の現状と課題」をテーマにご講演いただきましたが、その内容は支援員が日々直面している課題と重なる部分が多く、非常に示唆に富むものでした。講演後には、参加者からの質問にも丁寧に答えていただきました。

### 2. 当機構向け「オンライン会社説明会」開催

一流企業の説明会を今後も開催予定



1月16日、スカイマーク様による当機構加盟事業所向け会社説明会を開催しました。航空会社として知られる同社は、障がい者雇用にて事務から軽作業まで幅広い業務を担っています。まずはアルバイト入社し、無期雇用のアソシエイト社員へ段階的に移行できる制度があります。昇格には体調管理や報連相など基本的スキルが求められます。航空会社ならではの福利厚生も魅力でした。

### 3. 「チャレンジ板橋区役所前」が栄典

西武信用金庫より表彰を受けました。



2月27日、東京都中野区に本店がある西武信用金庫の地域創創部様が、当機構加盟事業所の「チャレンジ板橋区役所前」（東京都）の「社会課題解決に資する活動」や「より良い地域にするための取り組み」に対して表彰を実施してくれました。写真は表彰式にてフルーツを授与される同事業所の皆さまです。

## 全国の加盟事業所

2026年3月1日現在 **90** 事業所



### ❖題字の作者



1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみなどと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

### ❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



## 就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可） / イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず） / 川柳 / 俳句 / 短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。  
※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

### ❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖  
発行人：佐野敏夫 / 副発行人：両角康史 / 編集長：大槻一敬  
TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

## 社会福祉支援研究機構の目指す「就労移行支援」

①一人でも多くの“一般就労”を実現

②最適、最短の“一般就労”を実現

③“一般就労”実現の輪を全国に

### 資格合格実績累計

令和7年6月30日時点

16,312名合格

目指せる資格は70種類以上  
＜目指せる資格一例＞

- ❖ビジネスコミュニケーション基礎★ ❖ビジネス法務基礎★
  - ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
  - ❖パーソナルカリエリス検定 ❖ビジネス実務マナー3級◆
  - ❖秘書検定◆ ❖生成AIパスポート★
  - ❖ビジネス文書検定◆ ❖ビジネス実務法務検定試験
  - ❖色彩検定3級◆ ❖コミュニケーションリーダー★
  - ❖ピアカウンセラー★ ❖カーボンニュートラル検定★
  - ❖ITパスポート ❖MOS Excel/Word対策講座
  - ❖医療事務認定実務者®(医療事務講座)
- ★…試験免除プログラム対象資格 ◆…事業所内受験対象資格

### 就職実績累計

令和7年3月31日

4,683名就職



一般社団法人  
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

